



イアーポッパー耳管通気装置





イアーポッパーとは

飛行機内などの気圧の変化で起こる耳の不快感を予防・改善する自己耳管通気装置です。

ボタンを押すだけの簡単な操作で、鼻腔より中耳に一定量の空気をコンスタントに送り、機内と中耳内の気圧差を調整して症状を改善します。特別な練習も不要で人目を気にすることなく、スマートに耳管通気が行えます。





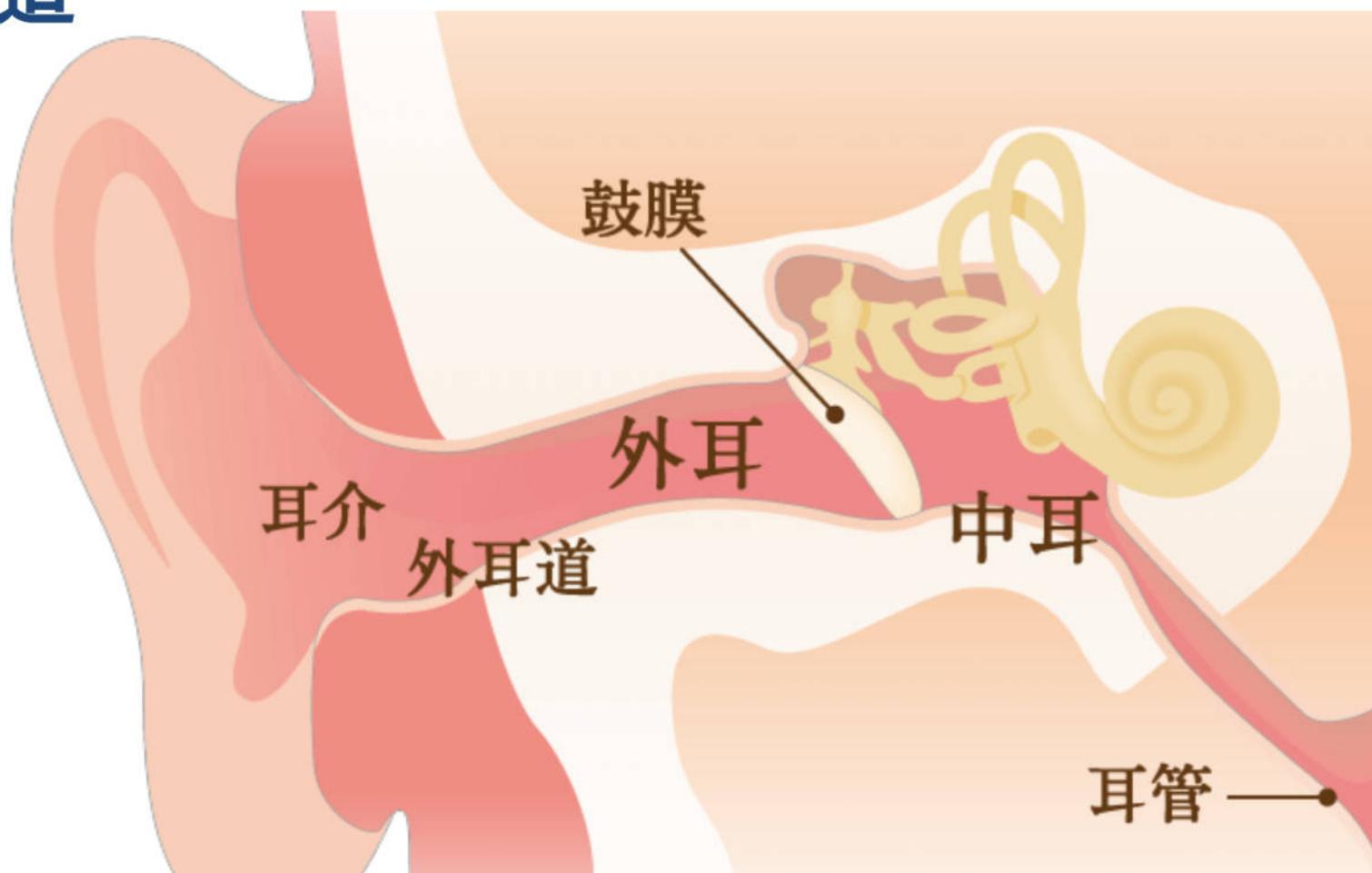
飛行機に乗った時に起こる耳の不快感

飛行機に乗った時に起こる耳痛や耳詰まりなどの不快感は、離着陸時の気圧の変化により、鼓膜の外側(機内)と内側(中耳)に圧力の差が生じ、鼓膜が引っ張られることで起こります。

イアーポッパーは、気圧の変化で生じる耳の不快感を、耳管を開くことで解消します（耳管通気法）。



耳の構造

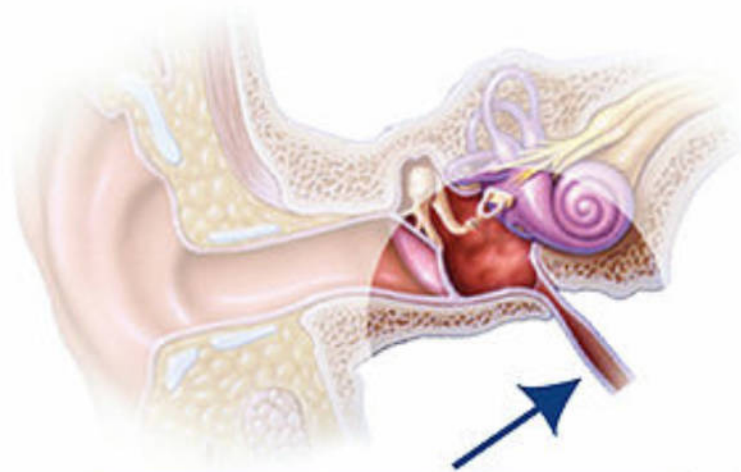


耳管の働き

耳管(空気の通り道)は、中耳(鼓膜の内側にある空気が入った空間/鼓室)と咽頭部(鼻の奥)とをつなぐ管のことです。

耳管は通常閉じていますが、あくびをした時や唾を飲み込んだ時に一時的に開いて空気を通し、中耳と咽頭部との換気を行ない、外部の気圧と中耳の圧力を等しく保つ働きをします。

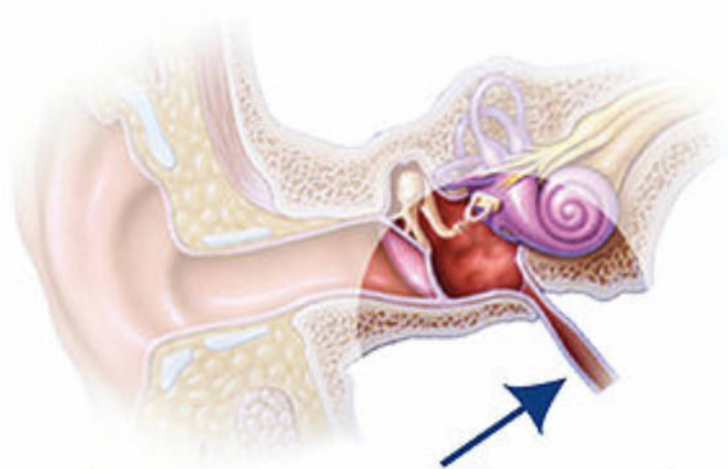
また耳管は、中耳から咽頭部へは空気を逃がしやすく、咽頭部から中耳へは空気を取り込みにくい構造をしています。



耳管が開いた状態



飛行機が上昇する際の気圧の変化



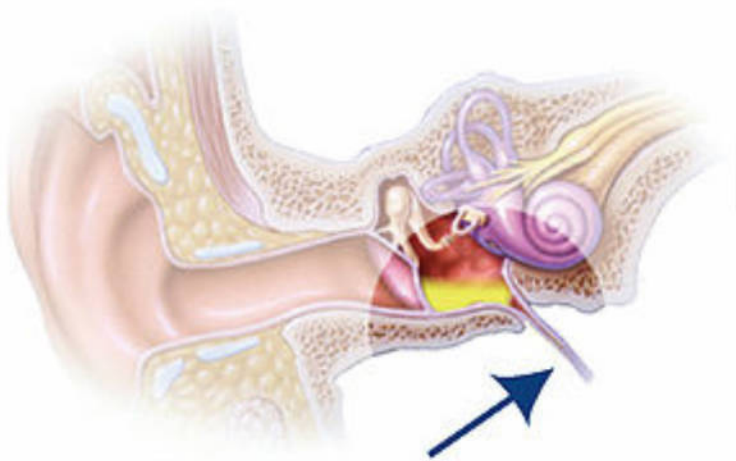
耳管が開いて空気を逃がす

飛行機が上昇する際は、鼓膜の外側(機内)の気圧は低く、鼓膜の内側(中耳)の気圧は高い状態にあります。

中耳の気圧を下るために、耳管は中耳から咽頭部へ空気を逃がして、鼓膜の内外との気圧差を解消します。



飛行機が下降する際の気圧の変化



耳管が閉じて空気が
取り込めない

飛行機が下降する際は、鼓膜の外側(機内)の気圧は高く、鼓膜の内側(内耳)の気圧は低い状態にあります。

中耳の気圧を上げるために、耳管は咽頭部から内耳へ空気を取り込む必要がありますが、耳管は空気を取り込みにくい構造になっています。

そのため、内耳は陰圧のまま、鼓膜は内耳側にへこんだ状態となり、耳の痛みを感じることとなります。



イアーポッパーの使用法 ①



イアーポッパーを使用する前に、鼻をかんで鼻の中をきれいにして、空気の通りを良くしてください。

イアーポッパーのノーズチップを鼻腔に当てて動作ボタンを押すと、鼻腔内に一定の空気がコンスタントに送られます。

最初はこの感覚に馴れてください。



イアーポッパーの使用法 ②



イアーポッパーのノーズチップを鼻腔に当て、もう片方の鼻腔を指で押さえて塞ぎます。

動作ボタンを押すと、鼻腔に空気が送られ、中耳内の気圧差を調整します。

その際、唾や水を飲み込むと耳管が開き、イアーポッパーからの空気が耳管に入りやすくなります。



イアーポッパーの使用法 ③



反対側の鼻腔にノーズピースを当て同じ操作を繰り返します。

症状に応じて、以上の操作を繰り返してください。

繰り返し使用しても症状が改善しない場合には、無理をせず操作を止めてください。



交換用ノーズピース / オプション 5個入



ノーズピースは繰り返し使用することができます。

使用後は中性洗剤を用いて温水で洗浄してください。

アルコールで清拭した場合は劣化が進むことがあります。

ノーズピースは滅菌できません。